

TOTAL-Tが教える

HOW TO AIR BRUSH

AIR BRUSHをはじめよう! -2003- VOL.10



基本技術を再確認!

大きなスプレーガンも
小さなAIRBRUSHハンドピースも
要はスプレー!

描きまくれっ!



<http://total-p.com/>

はじめに・・・

夢の“AIRBRUSHのHOW TO本” VOL.10

※ ビデオ CD  “ごあいさつ” を参照下さい。

皆さんこんにちは！

あと数ヶ月でこの本が出てから1年となります。

この本を出し、購読者の皆さんと関わっているおかげで、私はいろいろな面で成長出来ているような気がします。

皆さんはいかがでしょう？

今回も皆さんのことを一生懸命に考えてこの本を作らせていただきました。

皆さんのAIRBRUSHライフに、この本が少しでもお役に立てればと思っています。

行き届かない部分もあるかもしれませんが、今回もどうぞよろしくお願いいたします。

TOTAL-T 竹島 敏也



挿絵：Shigeru Yamamoto

もくじ

はじめに・・・	0
もくじ	2
まずはいっぶく・・・	3
第1章　ひと言のコーナー	5
第2章　お勉強のコーナー	6
基本技術を再確認！	6
大きなスプレーガンも小さな AIRBRUSH ハンドピースも要はスプレー	7
第3章　考えてみよう！	8
固定観念・・・	8
第4章　顔を描こう！	9
モノクロで練習しよう！（続編）	9
PaintShop K's から皆さんへひと言　PART II	10
弟子の独り言	11
第5章　知ってもソンしないコラム	13
ビデオ CD とオマケについて・・・	14
編集後記	15

まずはいっぷく…

恒例の“まずはいっぷく”のコーナーです。

いつものようにゆっくりといっぷくして、気を落ち着けて、この本を読んでいって下さい。



「本の発行が遅れてすみません！」

今回の号(VOL.10)の発行が遅れてしまい、大変申し訳ありませんでした。

いつものように月末の発行を予定していたのですが、ハードスケジュールのために遅れてしまう結果となりました。

この場をお借りしてあやまらせていただきます。(どうか皆さんの暖かい目で見守っていて下さい！よろしくお願いいたします。)

発行が遅れたお詫びとして、今回はショーカーのペイントの様子を写した映像を付けさせていただきます。

編集もろくにしていない状態ですが、皆さんの参考になればと思って付けました。

ペイントの様子をビデオ化して販売してみようか？と思いビデオをまわし始めたのですが、後半は納期に追われ、そんなところじゃなくなってきたという面もあります。

普段は目にすることが出来ない車へのカスタムペイントの様子と、わかりやすいコメントやナレーション等を付け加えて販売することが最初の目的ではあったのですが、この本の読者のみなさんへ発行が遅れたお詫びとして特別に公開しちゃいます。

ただし、わかりやすいコメントやナレーション等は付いておりません。

この本を最初の号から順に購読されている方なら、説明がなくてもわかるところがきっとあるはず…参考にして下さい！

それと、北海道から仕事の応援にかけつけてくれた PaintShop K's の梅ちゃんにも、この本の作成に協力してもらったので、それも今回付け加えていきたいと思っています。

PaintShop K's から皆さんへひと言 PART I

今回、自分の師匠でもあるTOTAL-Tへ北海道からペイントなどの応援に駆けつけ、HOW TO本にまでお邪魔することになってしまったんですが、今まで自分がしてきたカスタムペイントや絵を描くという事について、少しでも皆さんにプラスになるような事を伝えることができればと思います。

ちょうど2年前にここで始めてエアブラシで絵を描いたんですが、2年後にここに戻ってきて気がついたことは、まず toshi さんと描き方が多少違うと思ったこと、これにはちょっと驚いた！教えてもらった通りに練習してきたつもりなのに・・・

でもこれはきっといい事なんだと思う、最終的な考え方はほとんど変わらないと思うんですが(勝手に思ってるだけかも・・・)

そこからその人のタッチや個性が生まれるのではないのでしょうか。



2年前に、ここから家に帰って約半年、ほとんど毎日5時間以上は絵を描いていました。

自分はここから帰るときに、「絶対TOTAL-Tよりいい絵を描いてやる」って漠然と思っていたわけで、これぐらいのペースで描いていてもまだ描き足りないってぐらいでした。

でも実際そんな甘いものではなく、芸能人を描いても全然似てなかったり、「これはいい出来映えだ」って思って、妻に見せても「え～！」って言われたこともあって、内心かなりキレてたこともありました。でも描けば描くほど自分で多少なりとも、うまくなっていくのがわかるんですよ！それが楽しくてしょうがなくて、どんどんエアブラシにはまっていきました。

今の自分ぐらいのレベルであれば誰でもなれると思うし、ここで勉強している皆さんにも、もっともっと絵を描く楽しみを知ってほしい。今でも納得できないことも多いし、自分自身まだまだだなんて思うし、皆にも思われるかもしれませんが、まだまだ描きつづけていきたいし、皆さんにも楽しみながらどんどん絵を描きまくって上達して欲しいと思います。

第1章 ひと言のコーナー

※ ビデオ CD  “ひと言のコーナー” を参照下さい。

今回のひと言は“まわりの人を大切にしよう！”です。

なぜこんなことを言うの？AIRBRUSH に関係ないんじゃない？と思う方もいるとは思いますが、私的には非常に大切なこととして思っていることなのでここで言わせてもらいます。

もし、あなたのまわりにまったく人がいなかったとしたら・・・って考えてみてください。

ほとんど 100 パーセントの方がそのような中では生きていけないと思うはずです。

わかっているかもしれませんが、まわりの人達がいて自分自身が成り立っているということなのです。

悪いことをして警察に捕まったら、独房に入れられるというのも、“人のありがたみ”を再認識させるためではないでしょうか？



まわりの人がいるから自分が成り立っていると考えるようにすれば、いつも感謝の気持ちでものごとをやれるようになり、結果、まわりの人達に助けられていくということになっていくのではないのでしょうか？

第2章 お勉強のコーナー

ビデオ CD “お勉強のコーナー”      ”を参照下さい。

基本技術を再確認！

この本の VOL.01 から VOL.09 まで購読されて、「この本のおかげで上達したなー」と思う方もいれば、「よく読んでいるのに全然上手くならない・・・」という方もおられると思います。

その違いの原因として考えられるのは・・・

■ 実践でやっている人とやっていない人との違い。

実際にやってみる人と本を読むだけで実践をしない人との差は歴然だと思えます。
実際に道具を手にして少しずつでもいいから進めていきましょう！

■ 基本を理解している人と理解していない人との違い。

基本をよく理解していれば上手いくはずなのですが、よく理解せずに早まって先を急ぐ人ほど上手いかずに、結局遠回りすることとなってしまいます。

そこで！

もう一回基本技術を学び直してみましょう！ということなのです。

上手くいっている人でも、ビデオ CD を見て再確認をしてみてください。

フリーハンドで絵を描いていくために、これらの基本技術は非常に大切なものと私は思っています。

ビデオ CD を見て、「わかる！わかる！」「自分も出来てる！」という人は、いろんな絵をじゃんじゃん描いていけばいいと思います。

ビデオ CD を見て、「よくわからない・・・」「全然出来ない・・・」という人は、先を急がずにじっくりと基本を学びなおしていきましょう！



大きなスプレーガンも小さな AIRBRUSH ハンドピースも要はスプレー

大きなスプレーガンも小さな AIRBRUSH ハンドピースも要はスプレーです。

最初の号 VOL.01 で「スプレーで絵を描くこと、塗ることが AIRBRUSH」と私は言っていたと思うのですが、ビデオ CD（お勉強のコーナー“基本技術を再確認しましょう！”）を最後まで見てみれば理解できたと思います。

“スプレー”を簡単に説明すると、圧縮された空気を使って塗料を吹き付ける道具。

空気の強さ、塗料の濃さ、対象物との距離、運び具合など、様々な要素をしっかり理解して“スプレー”“AIRBRUSH”を扱うことが出来れば良いわけです。

エアブラシハンドピースは通常のスプレーガンが小さくなって手に馴染みやすくなったもの、絵を描きやすいように作られたものとして私は考えています。

トラックなんかには大きくて素敵な絵が描かれているものは、口径が0.2や0.3の AIRBRUSH ハンドピースだけで描かれているわけではありません。

大きなものにはそれなりに大きいスプレーガンで絵を描いたほうが、作業も早いし、ムラなども出にくいのです。

用途や目的に合わせてスプレーガン（AIRBRUSH）を選択するようにしていけば良いわけです。

それぞれのスプレーガン（AIRBRUSH）の特性、性格みたいなものをよく理解し、その場に応じてチョイスすることができればあなたも一人前ということです！



**スプレーのことをよく理解し、
うまく選択することが出来れば、
あなたも立派な
AIRBRUSH PAINTER の
仲間入りです！**



第3章 考えてみよう！

※ ビデオ CD  “[考えてみよう！](#)” を参照下さい。

固定観念・・・

今回の“考えてみよう！”は固定観念についてです。

あなたは下記のような固定観念をまだ持っていますか？

- **絵は輪郭やラインで描いていくもの。**
- **絵には描き方、ルールがある。**
- **自分は有名画家なんかには絶対なれない。**

もし、あなたがこのような事を思っているのならそれがあなたの固定観念です。
それらは誰が決めたものでもなく、あなたが勝手に決めつけたものです。

私は皆さんに、もっと自由な考えを持つようにして欲しいと思っています。
AIRBRUSH はこうやらなくてはいけない！とは決めつけずに、自分自身の考えや理論を持つようにしたいと思っています。
この本も参考にする程度の気持ちで、これが絶対に良い！とは考えずにいて下さい。

私の場合は、何もわからないところから独学で AIRBRUSH をやり始め、現在に至っているのですが、
独学なので、やり方も理論も私流です。
私のやり方や理論が絶対に正しいとは考えず、皆さんそれぞれのやり方や理論を持ってやって欲しいと考えているのです。

私もまだまだ成長しなければいけないと思っています。
数年先、やり方も理論もやっていくうちに変わってくるかもしれません。
今のところ私にとって AIRBRUSH は自分の夢をどんどん大きくしてくれているものとなっています。
それだけ未知の世界であり、可能性を秘めたものと思っています。
あなたのやり方であなた自身の AIRBRUSH の世界を展開して欲しいために、ここでこのようなことを言わせていただきました。

第4章 顔を描こう！

※ ビデオ CD “顔を描こう！12” を参照下さい。

モノクロで練習しよう！（続編）

私の顔をモノクロで描く続きです。

実はあの後、まったく手つかず状態でした。

どこまで進められるかわかりませんが、がんばって進めていきたいと思います。

まず、弟子の島ちゃんに手を入れてもらっています。（その間に私は本の原稿作業・・・）

ビデオカメラを三脚に立ててしばらく撮ってみることにしましたので参考にして下さい。

島ちゃんがどのように手を入れていくかは、私も未知の世界・・・島ちゃんには「見て覚えろ！」と言ってあるので、島ちゃんは島ちゃんなりの知識や技術でこの絵を直していくと思います。

彼の性格を例えると、ウサギとカメの“カメ”で、手は遅く見えるのですがコツコツと確実に物事を進め、最終的にはゴールに早く着くといった風。（そこが彼の良いところ）

後で私にバトンタッチするかとは思いますが、皆さんはとりあえずビデオ CD を見て、いろいろと皆さんなりに研究、参考にしていけばいいかな？と思っています。

絵を描く時、基本はあってもルールはありません！

基本をしっかりおさえ、

あなたの好きなやり方、描き方をしていけばいいと思います。

それがあなたのオリジナル性、タッチとなっていくのです。

PaintShop K's から皆さんへひと言 PART II

今回、応援に駆けつけてHOW TO本にまで出させてもらっているわけなんですけど、ここに来て感じたことについて、地元に戻る前に、ひと言残させてもらおうと思います。

いつも自分は一人で仕事をしているのですが、ここに来て複数で作業（ペイント）する楽しさや喜びを十分に満喫させてもらいました。今回の応援のメインである車へのペイントは納期が短い事と更にペイントしている途中での絵柄変更などで、かなり切羽詰った状態で、皆疲れきった表情をして連日徹夜で仕事しているのをライブカメラで見て知っている人もいるかもしれませんが、終わった後の達成感みたいなものもまた格別でした。

なかなかハンドピースを持つ者同士、一緒に仕事をするということは出来ないと思いますが、デザインや構図、描き方、色などについても相談しながら時には意見が食い違っていた時もあったけど、「そういう考え方もあるのか」と自分には無い部分をたくさん感じる事が出来たし、自分が絵を描いている時も、「こうやった方がやりやすいよ!」とか「こうした方がいいよ」とかいろんな意見も言ってもらったり、一人では気付かない新しい発見もたくさんあったり、仕事をしながら勉強にもなって更に技術も向上すれば、「こんなに良い環境は無いのでは」とつくづく感じ、こっちに引っ越して来たいくらいにまでなりました。

今回のペイントでは勉強になる事ばかりで、あまりに吸収する部分が多かった気がします。

ここで勉強している皆さんも普段は一人で絵を練習している人が殆どかと思いますが、一人で考え込むのではなく自分の作品を、いろんな人に見てもらっていろんな人の意見を参考にすると新しい発見も数多く出てくるし、見えなかったなにかが見えてくるかもしれないと思います。

そして、弟子の島ちゃんや、ここにいる間に遊びに来ていた、えりなちゃんに絵の描き方について教える機会があったのですが、教えられる立場から教える立場に立ってみて感じた事は、人が絵を描いているのを見て自分も無性に描きたくなってくる・・・これはどうしてもなくなって、ついには自分も絵を描き始めてしまいました・・・そして、その人に合った教え方をしていかなければいけない事など教えることの難しさを、身をもって体感しました。でも、教えることによって自分の勉強にもなる事、教えられることもたくさんある事、これをいつもやっているTOTAL-Tもすごいという事も改めて実感しました。

自分もまだまだ勉強中の身で、知らないこともたくさんあり、こんな偉そうな事を言える立場じゃないかもしれませんが、今回のことを含めちょっとした事でどんどん吸収して今後の技術向上につなげていきたいし、この本を購読している皆さんにいろんな事を吸収し、どんどん上手くなってエアブラシの楽しさ、奥深さを知ってもらいたいと思っています。

こうして2週間弱、ここに来て自分にとってかなりのリフレッシュ＆収穫になりました。そして最後に、師匠にまで「こうした方がいいのでは」などと言ってしまうような、こんな生意気な自分に、とっても良くてくれたtoshiさんや奥さん、子供たちや弟子の島ちゃん、そして遊びに来た方や鶴来の皆さん達に感謝感謝でした。

PaintShop K's

2003/10/4

弟子の独り言



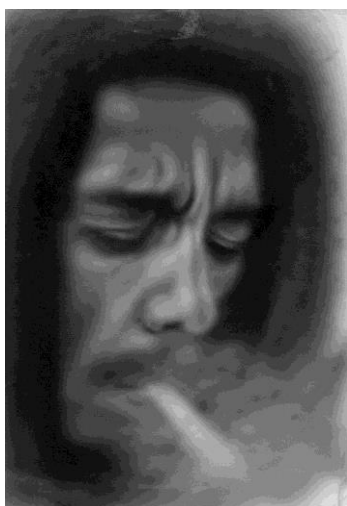
こんにちは弟子の島崎です。僕にとっては二回目のこのコーナー、なんとかこの場所で書くことが出来ました。ありがとうございます。（合掌）

「なんとか」というのもこちらに来て一月も経たないうちに体調不良で一時帰省していたのです。自宅療養中に自分で絵を描いてみて気付いたこと悩んだことを書いてみます。

僕の家はマンションなのでまず塗料（臭い）で悩みました。で、揃えたのがエアブラシ用に出されていた水性塗料と、ラッカー塗料です。水性塗料なのであまり期待していなかったのですが上手く使えば環境上とても好都合です。購入した水性塗料は小分けで売られていて色も豊富で、容器もお洒落な感じ。フタを開ける甘酸っぱい青春の臭いがしました。ずーっと嗅いでいたとなるととても良い臭いで、期待も高まりました。塗料の方は薄めないで描けると聞いたのですが見た目からして濃く、専用薄め液を購入していなかったので何も考えず水で薄めてみました。水にはスーッと溶け 0.3mmのガンにも楽に通ったのですが、始めて 30 秒くらいでニードルの先に塗料が固まってしまう塗料が出づらくなってしまいました。吹き付けてすぐ掃除の繰り返しでした。しかもキャンバスが紙だったので水分の吸い込みがひどくなかなか作業が進みませんでした。描き終わった頃には紙がシワシワになってしまったので、紙では難しいと思い今度はベニヤ板に描いてみると、紙よりは描き易いのですがこちらも板が水分を吸いなかなか乾かず、吹き付けて乾かしている間にガンを掃除するといったとても時間のかかる作業になってしまいました。もう少し大きめのガンと専用の薄め液、それから何か良いキャンバスがあればもう少し違った結果がでていたと思うのですが…（悩）。

次にラッカー系の塗料を試してみました。これも小分けで売っていて、色は数え切れない程ありました。ホビーや絵を描く用のエアブラシ用の塗料です。薄め液は専用の物とそうでない安売りの物を購入し比較してみました。0.2mmと 0.3mmのガンを使ってみたのですがエアブラシ初心者の僕にもすぐ解かるくらいガンの通りは良く、キャンバスは普通のノートの紙でしたがますますの描きやすさでした。薄め液は専用の方が若干よかったけれど練習としては安い物でも充分といった感じでした。室内での夜から明け方にかけての作業でしたが臭いが酷く住宅地のマンションでやるには向いていないという解かりきった結果なので対策を考え中です。

作業に入る前からある程度は結果予想できていた事だったのですが、自分で体験すると更に気付く事がありとても勉強になり楽しかったです。わかりきったことでも実体験していないのならやる価値は充分にあるということですね。そして、その時に研究しながら描いた絵はレゲエの神様のボブマーリー。



もちろん完全にフリーハンドで描きました。出来は良いとは言えないけど出来あがった時の喜びはフリーハンドで描いた人だけが味わえるものだと思います。そこで、TOTAL-T で読んだ本の中にこんな物があったので一部を紹介します。「…正確さを持つ方法は投影・トレース…（中略）みな機械的な方法である。これらの方法は君に描く能力を高める意欲を促すだろうか？あるいはこうした機械的な方法を使うこと自体に喜びを感じるだろうか？（中略）もし、君の生計がとにかく模倣に依拠しているというなら、どんな方法で描こうと結果だけが問題となりうるだけである。しかし、絵を描き込んでいく事の中に喜びやスリルを味わうことを受入れたければ、私は君自身の能力をひきだし、進歩させる方法をとりたまえ、と忠告したい。」この人いいこと言うな～（賛）。とは言ってもその進歩させる方法が解からないというのが普通ですよね。だからこの本を読んでいるのだろうし、僕もここにいます。これは僕の中の一つの経験で思うことですが、最初はとにかく真似をする。例えば、僕はギターを始めたときに最初は何もわからなくいろいろ真似をしてみました。簡単な曲が弾ける（＝手法がわかる）ようになると曲にアレンジ（＝オリジナル）を加えたくなくなってくるのは当然で旋律の中にいろいろな音を入れて遊び（＝実験研究）しました。同じ曲を弾いても人によって全然違う曲になるので、アレンジを強調し育てていけばそれがオリジナルになっていくと僕は思います。ま～、オリジナルが認められるかはその人のセンスだけど。

エアブラシも同じで、手法が解かって来たらオリジナルを磨き自分を進歩させていくものだと思はいます。

石川県に帰ってくると直ぐにショーカーの制作にはいりまして、忙しい日々が続いています。僕にとってオールペンからエアブラシまで大掛かりな作業を間近に見て触ることが出来るまたと無いチャンスです。エアブラシの練習はできていませんが描くだけが勉強でもなくいろいろ見たり聞いたり触ったり考えたりすることで少しずつでも確実に上達していきたいです。（精進）応援に来られた paint shop K's さんと師匠の雑談を聞いているだけでもとても勉強になります。以前だったら何を話しているのかも解からなかったこともなんとか解かるようになってきました。なにやら外国に行った頃を思い出します。

もう暫くここにいれば僕もエアブラシ語が話せるようになりそうです。

島崎 卓也

第5章 知ってもソンしないコラム

今回の“知ってもソンしないコラム”はショーカーのペイントのことについてお話したいと思います。

前月号でペイントした車が東京モーターショーに出るかも？と言っていましたが、残念ながら・・・という結果となりました。

それはなぜか？と言うと・・・今回のペイントの依頼元は某オーディオメーカー、そのメーカーが広告代理店に依頼し、その広告代理店からうちに依頼してきたという経緯なのですが、当初は東京モーターショーに出展し、その後メインの海外へ運ぶという予定でした。

しかし、メインの海外でのショーが東京モーターショーの時期と重なってしまい、結局メーカーとして重要視される海外のショーを優先としたようです。

今回付けている映像を皆さんに見せてもなかなか伝えきれない部分、わかってほしい部分（技術的なことではありませんが・・・）をここでお話したいと思います。

それは何かというと、大幅な予定変更があったことです。

どんなふうに変更があったかということ・・・

広告代理店が海外の有名デザイナーの描いた絵の版權をとってそれを私がペイントするという予定だったのが、契約直前にそのデザイナーとの連絡がとれなくなってしまったために、そのデザインは使用出来ないから、デザインを変えてほしいとのこと。（その時はすでにほとんどのデザインが車に描かれた状態でした。）



仕方なくデザインを大幅に変えて描き始めたら、今度は「それじゃまずい！」との広告代理店社長からのお言葉。

「なんで？言われた通りにやっているのに！」と私が攻めると、実はメーカーにプレゼン資料がいつているのでそれと大きく異なるとまずいとのこと。（プレゼンのやり直しをしている余裕も時間もないとのことでした。）

TOTAL-T はそんな中でデザイナーの著作権にふれず、尚且つ、広告代理店がメーカーに出したプレゼン資料からもずれないようにするのに一苦労も二苦労もしました。

ただでさえ時間がない中での予定変更、私もK'sの梅ちゃんもさすがにまいってしまいました。

徹夜を繰り返し、ギリギリでなんとか仕上がった車が出来た時の朝、デザイナーと連絡がやっととれたと連絡が東京から石川に入りましたが、時すでに遅し・・・車は仕上がっていたのです。

自分も梅ちゃんも、なんとも言えない気分になりましたが、最終的には「いい勉強になったね！」「俺たちのオリジナルデザインが世界に行くんだ！」とお互いに気持ちを落ち着けあったのです。

ここで皆さんに言いたいのは、広告代理店の文句を言いたいのではなく、時にはつらいときもあるけど、それが勉強になるんだ！ プラス思考でやっ払いこう！と言いたいのです。

広告代理店の社長さんがこちらに泊り込みでペイントする様子をずっと見守ってくれていたのですが、とてもいい方でした。（これからも長い付き合いをしていけたらいいなと思っています。）

苦労はしましたが、与えられた運命として受け止め、プラス思考でこれからもやっ払いこうと私は思っています。マル秘話など他にもいっぱいありますがこのへんにしておきます。

TOTAL-T 竹島敏也

この本と共に勉強していきたい方のための道具選び

これから AIRBRUSH を始めようとする購読者のみなさんへ
私がお勧めする道具等を紹介していきます。
私が経験をもとに厳選したもので、
安心してご使用できることと思います。
ほしいものがあればご購入ください！
その道具を使いながら、私と一緒に勉強していきましょう！
購入しなくても、いっこうにかまいません。
参考にするだけでもいいと思います。
道具は財布と相談しながら、少しずつ揃えていけばいいと思います。
この本と共に勉強していくために、
必要なものを少しずつ紹介していきます。
よけいなものは紹介しませんので、ご安心ください。



TOOL の購入を希望される方は…

※付属のビデオ CD から購読者専用ページに入れるようになっています。

購読者専用ページ→TOOL コーナーよりお申し込み下さい。

道具に関してのご質問やご要望などありましたら、遠慮なくお申し付けください！

ビデオ CD とオマケについて…

ビデオ CD を見ていただきたい！

手作りでのビデオ CD も作っているために、画像が悪かったり、しゃべっている声が聞きづらかったりするかもしれませんが、
どうかお許し下さい。

しかし、内容は充実していると思います。

このビデオ CD を見なければ始まりませんよ！

オマケで遊んでいただきたい！

毎回オマケをつけていましたが、今回は無し！

次回、また何かいいものがあれば…。

CD の見方は…

CD をパソコンに入れると、自動的にインターネットエクスプローラが立ち上がるはずですが。

あとはメニューの中身を見るだけです。

うまく見られない場合は CD の中身をエクスプローラ等で表示させ、一つ一つのデータをクリックしてみてください。

見られないといった連絡も現在数件ありましたが、CD が不良ではなく、ほとんどの場合がパソコンの不具合や CD プレーヤーの不具合、またはインターネットエクスプローラやメディアプレーヤーがインストールされてない場合です。

うまくいかない場合は、パソコンのことを知っている近くの方に相談してみてください。

万一、CD が不良の場合は CD を再度お送り致しますので、ご連絡下さい。

マッキントッシュのパソコンでは見られないかもしれませんのでその点はご了承下さい。



編集後記



“TOTAL-T が教える HOW TO AIRBRUSH VOL.10” いかがでしたか？
またもや、時間がなかったと言い訳して手抜きをしている・・・と皆さんに思われているかもしれませんが、これで精一杯なのが現状・・・どうかご理解下さい。（税込み2,000円の価値は十分にあると思いますので！）

ひとくくりのVOL.12まで、残すところあと2回となってしまいました！
この先はどうなっていくのか？どうやってまとめていくのか？
正直言って私もこの先どうなっていくのかよくわからない状態ではありますが、とにかく楽しみにして次回の発行をお待ち下さい。
私も皆さんも一生懸命ここまでやってきたのですから、残りの2回を悔いのないように一緒に乗り切りたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

本のご予約について・・・

当ホームページ→BOOK→購読申込フォーム よりご予約ください。

自分の予約状況を知りたい場合や予約を解除したい場合はメール等でお問い合わせください。
尚、携帯電話からでも当ホームページ <http://total-t.com>
にアクセスしていただければ購読予約ができるようになっていますのでご利用ください。
不具合等を発見されましたら遠慮なくお伝え下さい。

★AIRBRUSH PAINT & TOTAL-TECH★

TOTAL-T

〒920-2104 石川県石川郡鶴来町月橋町 416-1

TEL 0761-93-9002 FAX 0761-93-5551

URL <http://total-t.com> Mail toshi@total-t.com

最後まで読んでいただきありがとうございました。